

2023年度環境経営レポート

【対象期間】 2023年5月1日～2024年4月30日



作成日 2024年8月15日

篠田電機株式会社

環境経営方針

篠田電機株式会社は、事業活動を通じて、地球環境に与える負荷の緩和に向けた取組みや様々な環境活動に、全員参加で、自主的・積極的に取り組みます。

1. 当社に適用される法規制、当社が同意する要求事項を遵守します。
2. 省エネ活動で二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 材料の有効利用と分離徹底により廃棄物の削減に努めます。
4. 節水活動により、水使用量の削減に取り組みます。
5. 化学物質の適正管理に努めます。
6. 設備・機器・車両等は省エネ・省資源を考慮して選択します。
7. お客様の省エネ・省資源を支援します。
8. エコ活動を通じて、明るく活気のある職場づくりを推進します。
9. 環境教育を通じて、全社員にこの環境経営方針を周知するとともに
PDCAに基づく環境経営の継続的改善に努めます。

制定日：2018年5月1日

代表取締役 篠田 佳典

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

篠田電機株式会社

代表取締役社長 篠田 佳典

(2) 所在地

本社 岐阜県山県市岩佐783番地の3

(3) 環境管理担当者氏名及び担当連絡先

責任者 代表取締役 篠田 佳典 TEL:0581-52-1518

(4) 事業内容

電動機部品の製造・コイル巻線加工

(5) 事業の規模

従業員 17名

床面積 467 m²

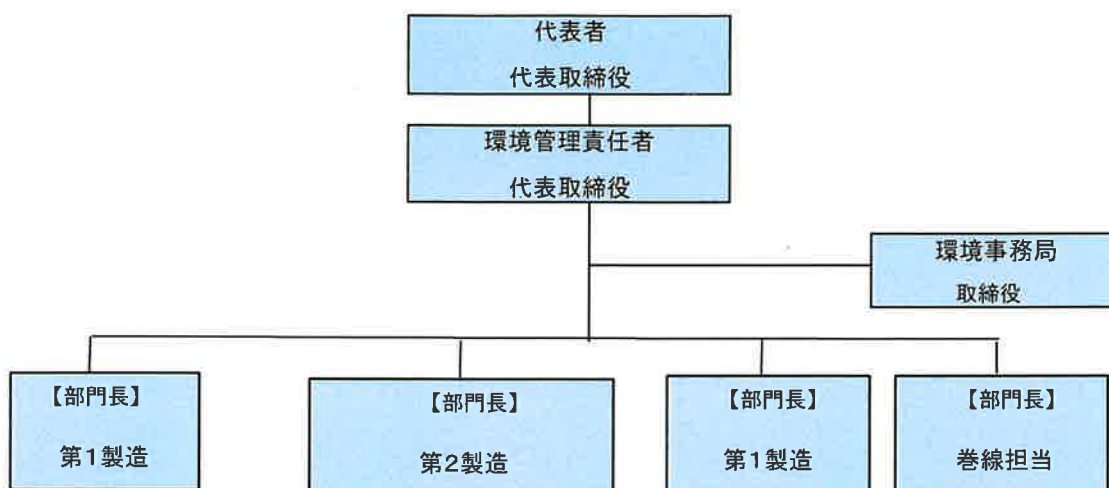
(6) 事業年度 2023年 5月1日～2024年4月30日

2. 認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： 篠田電機株式会社

対象事業所： 本社

3.実施体制図及び役割・責任・権限表



担当	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4.主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	60,397	50,924
廃棄物排出量	kg	2,200	1,664
一般廃棄物排出量	kg	2,194	1,658
産業廃棄物排出量	kg	6	6

項 目		年 度	基準値 (基準年)	2023年		2024年	2025年
				目標 基準年比	実績 (目標比)	目標 基準年比	目標 基準年比
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		38,002 2019年	36,482 96%	34,395 106%	36,102 95%	35,722 94%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂		2,734 2019年	2,625 96%	1,831 143%	2,597 95%	2,570 94%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		14,358 2019年	13,783 96%	11,254 122%	13,640 95%	13,496 94%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		6,469 2017年	6,404 99%	3,444 186%	6340 98%	6275 97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		61,563	59,295	50,924	58,679	58,063
一般廃棄物の削減	kg		2,194 2017年	2,106 96%	1,658 127%	2,150 98%	2,128 97%
廃プラの削減	kg		6 2017年	6 100%	6 100%	6 100%	6 100%
水道水の削減	m ³		472 2021年	463 98%	566 82%	458 97%	453 96%
電線被膜剥離材ソルコートの使用量削減	kg		20 2017年	19 94%	20 94%	18 92%	18 90%
グリーン購入の推進	%		100%	100%	100%	100%	100%
製品・サービスへの環境配慮 (化学物質の適正使用)	-		化学物質管理	化学物質管理 100%	化学物質管理 100%	化学物質管理 100%	化学物質管理 100%

電力の二酸化炭素排出係数: 0.497 kg-CO₂で算出

4-1.次年度環境負荷目標

項 目	単位	2023年度	
二酸化炭素総排出量	kg・CO ₂	50,924	
廃棄物排出量	kg	1,664	
一般廃棄物排出量	kg	1,658	
産業廃棄物排出量	kg	6	

項 目		年 度	基準値 (基準年)	2024年	2025年	2026年
				目標 基準年比	目標 基準年比	目標 基準年比
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		34,395 2023年	34,051 99%	33,707 98%	33,363 97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂		1,831 2023年	1,813 99%	1,794 98%	1,776 97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		11,254 2023年	11,141 99%	11,029 98%	10,916 97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		3,444 2023年	3,410 99%	3,375 98%	3,341 97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		50,924	50,415	49,906	49,396
一般廃棄物の削減	kg		1,658 2023年	1,641 99%	1,625 98%	1,608 97%
廃プラの削減	kg		6 2023年	6 100%	6 100%	6 100%
水道水の削減	m ³		566 2023年	560 99%	555 98%	549 97%
電線被膜剥離材ソルコートの使用量の削減	kg		20 2023年	20 99%	20 98%	19 97%
グリーン購入の推進	%		100%	100%	100%	100%
製品・サービスへの環境配慮 (化学物質の適正使用)	=		化学物質管理	化学物質管理 100%	化学物質管理 100%	化学物質管理 100%

電力の二酸化炭素排出係数: 0.497 kg-CO₂で算出

5.環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	単月では目標が未達成だったが累計では達成できた。 ・次年度も継続して取り組む。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	
LPGによる二酸化炭素削減		
数値目標	○	目標達成出来た ・次年度も継続して取り組む。
・使用機器の空気比	○	
・機器の安全点検	○	
・使用機器温度の適正化	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	アイドリングストップやエコドライブを心掛け達成できた。 ・次年度も継続して取り組む。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・燃費のよい自動車の採用	○	
灯油による二酸化炭素削減		
数値目標	○	機器の点検・清掃をし、温度管理をした結果目標達成。 ・次年度も継続して取り組む。
・暖房の温度管理	○	
・効率的な使用	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	分別を徹底した結果目標達成した。 ・次年度も継続して取り組む。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	△	
・両面コピー機の購入	○	
廃プラの削減		
数値目標	○	今後も目標達成するように活動する。 ・次年度も継続して取り組む。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	△	
・リサイクル業者の開拓	△	
電線被膜剥離材ソルコートの使用量削減		
数値目標	×	引き続き適正な使用量を管理する。 ・次年度も継続して取り組む。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
水道水の削減		
数値目標	×	節水に心掛けたが目標未達成となった。 引き続き節水に心掛ける。 ・次年度も継続して節水に取り組む。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	△	
・手洗い時の節水	△	
グリーン購入の推進		
数値目標	○	今後も目標達成するように活動する。 ・次年度も継続して取り組む
・有害性の少ない資材の購入	○	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・燃費のよい自動車の採用	○	
製品・サービスへの環境配慮		
数値目標	○	・引き続き化学物質として使用している電線被膜剥離剤ソルコートの適正使用がされているかどうかを管理する。 ・次年度も継続して取り組む
・電線被膜剥離剤ソルコートの使用量の適正使用	○	
社会貢献		
・会社周辺の清掃	○	【現状】よく意識されている。 【今後】問題意識を持ち積極的に貢献できるよう心 ・次年度も継続して社会貢献をする。
・冬季通学路の除雪作業	○	
・自治会行事への積極的参加	○	

6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音・振動規制法	空圧機、送風機
消防法（危険物）	暖房用灯油の保管200L
フロン排出抑制法	業務用空調機
浄化槽法	合併浄化槽
自動車リサイクル法	営業車両
顧客要求事項	EA21への取り組み

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等は過去3年間（あるいはこれまで）ありませんでした。

7.代表者による全体の評価と見直し

<評価>

- ・電力使用量削減、自動車燃料の環境目標も達成できた。
- ・水道水の削減が未達成となてしまった。
- ・次年度も環境目標計画の達成に取り組んでいく。

<指示>

- ・今年度が中長期目標・活動計画の4年目となり、今年度(2023年度)を基準年度として中長期計画をたて次年度も活動することとする。

8.環境活動の紹介

◆ 社内注意書きで社員への意識づけ ◆



◆ 社内整理整頓 ◆

